

第一志望合格へ!! 過去問の活用法

駿台中学部 自由が丘校



1. 過去問の復習の手順

① 解答の分析

解き終わってから可能な限り早く行うこと。遅くなればなるほど、どんどん忘れて、どうでもいいかと思っていきます。

② 復習・解き直しノート作成

誤答の問題は正答の解法が定着するまで、何度も解き直すこと。目安は最低3回。

2. 解答の分析をする

●以下のように分類し、それぞれ対応する

①最適に正答した問題

③知識不足な問題

⑤ミスした問題

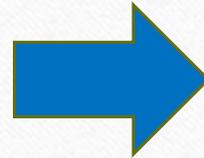
②正答した問題

④解法が不明な問題

⑥まぐれの正答問題

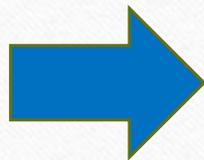
3. 正答した問題の復習

①最適に正答できた問題



~~復習不要~~ → 別解を確認

②正答できた問題

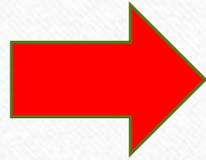


解説・別解を確認し、
次は最速で正答できるように

正答できた問題も、次につながるよう復習すること

4. 正答した問題の復習 その1

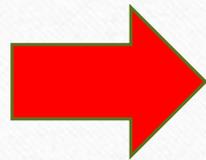
③知識不足な問題



基本事項の確認、暗記

やればできる、やらなきゃできない

④解法が不明な問題



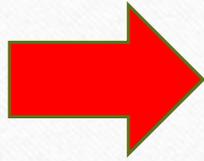
使う基本事項とその使い方を
テキストと併用し確認

基本事項の復習・演習不足

この③・④を①・②にしていくのが勉強である!!

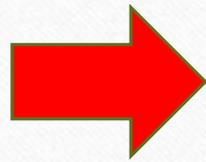
5. 正答した問題の復習 その2

⑤ミスした問題



ミスの原因を特定、明記
「計算ミス」と書き残すだけでも違う!!

⑥まぐれの正答問題

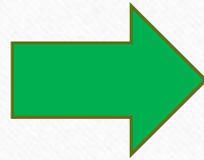


絶対に正答としてはいけない!!
誤答として扱い、③と④どちらに分類されるかを確認。**絶対に!! 見逃しちゃダメ!!**

この⑤・⑥まで含めて、**実力である!!** 言い訳不要!!

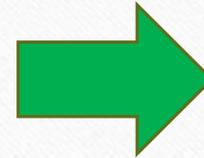
6. その他の分類

●時間が足りなかった問題



追加で時間を計って解く。結果により、**正答①②**か**誤答③④⑤**に分類する。

●その他、様々な言い訳を思いつく誤答



真摯に、素直に受け止めて**誤答③④⑤⑥**に分類する。
誤答は誤答。言い訳不要。

7. 復習・解き直しノート作成

●分析した内容に沿って記入内容が異なる

①最適に正答した問題
別解のポイントを付記

②正答した問題
解答解説からポイント抜粋。

③知識不足な問題
テキスト等の該当ページ付記、
確認。

④解法が不明な問題
解答解説からポイント抜粋。

⑤ミスした問題
ミスの原因明記。

⑥まぐれの正答問題
分析結果から③か④を行う

8. 終わりに

なんだかんだ言って、高校入試であろうが、大学入試であろうが、正答が設定され、誤答を減らし、合格最低点を下回らなければ良いという、明快な目標が設定されています。

できないことをできるようにすればいいだけです(合格点に届いていないなら特に)。バツをマルにすればいいだけです。やることは単純です。

ですが、それを完璧に行うということは、とても難しい。しかし、それを目指して取り組むことが勉強であり、知識・思考力を身に付け、第一志望合格への最短距離なのです。**一生懸命、勉強しよう!!**